

## 名護市辺野古沖公有水面埋め立て申請に対して、知事の不許可を求める意見書

基地問題をめぐり、うちなーは、日米両政府に翻弄され続けてきた。また、これまでうちなーんちゅ同士で基地の存在の賛否をめぐって激しく対立してきた悲しい歴史がある。

しかし、うちなーの将来のために、うちなーんちゅの生命・財産を守るために私たちは立ち上がり、「普天間飛行場の早期閉鎖・返還、同飛行場の代替施設の県内移設に反対し県外・国外を求める」、「オスプレイ配備の県内配備反対」で、一致団結した。去る1月28日には沖縄県議会及び県内全41市町村長・議長らが、安倍首相はじめ主要閣僚へ直接建白書を手渡し、うちなーの実情、怒りを訴えた。私たちは、もう後には戻れないし、もう戻らない。

基地問題をめぐりうちなーんちゅが1つになり、闘争は新たな展開を迎えている中、沖縄防衛局は3月22日、米軍普天間飛行場の辺野古移設に向けた公有水面埋め立て承認申請書を、北部土木事務所に事前の連絡もなく突如提出した。地元の名護市長はおろか県知事さえも驚きの声を上げ、憤りを露わにしている。うちなーの民意に対する重大な挑戦であり、激しい憤りを禁じ得ない。

「うちなーへのこれ以上の負担を許さない」、うちなーんちゅの声を無視し続ける政府に対して激しい憤りをもって糾弾する。

よって、本町議会は、普天間飛行場の辺野古移設に向けた政府の辺野古沖公有水面埋め立て申請に激しい憤りをもって抗議するとともに、うちなーんちゅの先頭に立つ知事に対して、下記の事項を強く要請する。

### 記

- 1 知事は、普天間飛行場の辺野古沖移設に向けた公有水面埋め立て申請書を不許可とすること。
- 2 知事は、日米両政府に対して、普天間飛行場の辺野古移設計画の撤回を求めること。
- 3 知事は、日米両政府に対して、普天間飛行場の早期閉鎖・無条件返還を求めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

2013年5月29日

沖縄県西原町議会

あて先 沖縄県知事